

図書館だより



No.183

2012(平成24年)7月24日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>



福島県立図書館 全館復旧のお知らせ

県立図書館は、東日本大震災により、建物、施設等に大きな被害を受けたため、復旧工事を進めてきましたが、6月30日(土)から全館復旧いたしました。

全館の復旧を記念して、新しいサービスと、特別企画による展示等を実施しております。ぜひ、ご来館の上、ご利用ください。

《新しいサービス》

☆パソコンによる新聞記事閲覧システムの供用開始

6月30日より、パソコンにより新聞記事が閲覧できるシステムの供用を開始しました。このシステムで閲覧することができるのは、明治25(1892)年8月1日～平成14(2002)年7月31日までの『福島民報』です。従来のマイクロフィルムよりも鮮明な画像で拡大・縮小して見ることができます。

《企画展示》

☆「八重の桜」～新島八重とその時代 展

2013年NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公、新島八重に関連する資料を展示しています。

開催期間：6月30日(土)～8月1日(水)

展示場所：公開図書室入口

☆「軍記物語にみる“戦”の記録 ～佐藤文庫収蔵資料を中心に」

日清・日露戦争をはじめ戦争関係資料が充実し、全国の専門家からも熱い視線をあびている佐藤文庫から、これまで公開する機会がなかった古代から中世の軍記物語に関連する資料を展示しています。

開催期間：6月30日(土)～10月3日(水)

展示場所：展示コーナー(当館入口左側)

☆長谷川雄一「希望の大地」展

会津若松市出身の木版画家、長谷川雄一氏の作品展示と、関連資料等の展示を行っています。

開催期間：6月30日(土)～8月1日(水)

展示場所：ロビー展示コーナー

◆イベントのご案内◆

アートな おはなしかい

■日時：8/11(土)
13:30～15:30

■場所：福島県立図書館
「こどものへや」前集合

■対象：小学生20名
(保護者の方も同行できます)

■経費：無料

■お申込み・お問い合わせ
・福島県立図書館
「こどものへや」
Tel:024-535-3218

*当日までに、お申し込みください。



新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・社会

『ゲーミフィケーション：〈ゲーム〉がビジネスを変える』井上明人／著 NHK 出版

2012.1 007.3/17 121/

選挙、商品販売、環境運動... 本来ゲームではない活動にゲーム的要素を取り入れ、より魅力的で活発なものにする—この本では、そんなゲーミフィケーションという考え方を解説しています。

紹介されている事例の中にはインターネットを通して手軽に体験できるものもあるため、著者が述べるゲーミフィケーションの力、あるいは課題点などを読み手が自分の経験とともに考える際の参考になるのではないのでしょうか。

『日本遊戯史：古代から現代までの遊びと社会』

増川宏一／著 平凡社

2012.2 384.8/マ 122/

昔の人は、どんなことをして遊んでいたのでしょうか。古代から現代まで、庶民から宮廷、将軍家まで、時代時代に人々の間で様々に流行し、受け継がれ、時に衰退し、抑圧されてきた日本の”遊び”の歴史を、各時代の社会環境とともにまとめた本です。日本人の豊かな遊びの世界をのぞいてみませんか。

自然

『ゼロから見直すエネルギー』

化学工学会緊急提言委員会／編 丸善出版

2012.2 501.6/カ 122/

節電に意識が向くこの7月、「再生可能エネルギー法」導入拡大の起爆剤と期待される「全量固定価格買い取り制度」がスタートしました。一方で、7月5日には福井県大飯原子力発電所3号機が約1年3カ月ぶりに発電を開始しました。

本書は、数多のエネルギー関連技術を網羅的に取り上げ、簡潔に解説し、今後の可能性や課題についてまとめています。今注目が集まる海洋発電のうち、洋上風力発電にも言及。今後の日本のエネルギー需給について考える足掛かりとなる1冊です。

『大英博物館 図説 金と銀の文化史』

スーザン・ラニース、フィリパ・メリマン／著 柘風舎 2012.1 565.12/ヌ 121

東京ではこの夏、古代エジプト展が催されていますが、こちらは、鉱物・金と銀の歩んで来た道を、大英博物館のコレクションとともに辿る本です。

柔らかく道具や武器には向かないが腐食に強い金、腐食しやすいが加工しやすく磨けば輝く銀。どちらも、希少であること、そしてなによりその美しさで、人びとを魅了してきたといわれます。

貨幣、装飾品、富や権力の象徴など、その多彩な表情を伝える写真が美しいばかりでなく、索引や参考文献も付されている充実の1冊です。

雑誌・新聞

NHK大河ドラマの今年の主人公・平清盛、来年の主人公・新島八重について取り上げている雑誌・新聞の記事をご紹介します。

.....平清盛について.....

*王朝への挑戦 平清盛

Z/051/B5『別冊太陽 日本のこころ』190号 平凡社

*平清盛と「六波羅幕府」

Z/375.3/R2『歴史地理教育』2012年4月号
歴史教育者協議会

*激突！部門の覇者をめぐる200年戦争

Z/210.05/R4『歴史読本』2012年5月号
新人物往来社

.....新島八重について.....

*連載評伝 八重と新島襄

Z/051/S18『サンデー毎日』2012年1月29日号～
連載中 毎日新聞社出版局

*新島八重と瓜生岩を知っていますか

Z/590.5/S2『清流』2012年2月号 清流出版

*会津の華は凜として 新島八重の生涯 毎週日曜

『福島民友』2012年4月1日～ 連載中

*ふくしま人 新島八重 毎週土曜日(5回)

『福島民報』2012年3月31日～4月28日

地域

『新島八重と幕末：会津に咲いた八重の桜』

由良弥生／著 セブン&アイ出版
2012.3 L289/N23/8

会津藩士の娘としての誇りを胸に、兄である山本覚馬から銃の手ほどきを受けた新島八重。

会津戦争で、日に日に劣勢になっていく味方の様子を見かね、自らスペンサー銃を携えて敵軍に飛び込んだ八重は、後に「悪妻」とも「ハンサムウーマン」とも評されるほど勇猛果敢な女性でした。

会津藩の教えに従いながら、誰よりも先の時代を見通して活躍した女性。激動の世をたくましく生き抜いた八重のルーツに迫ります。

『ラジオ福島の300日』

片瀬京子とラジオ福島／著 毎日新聞社
2012.3 LS369.31/K16/1

平成23年3月11日14時46分19秒。東日本大震災発生直後から350時間余に渡って放送された「ラジオ福島災害報道特別番組」。

ラジオ福島は、社員55人という限られた取材体制の中、余震と津波と原発事故に怯える県民へ役立つ情報を届けるために、リスナーからの情報や他社報道のほか、Twitter、Ustreamを駆使して情報を発信し続け、報道機関としての責務を全うしました。

震災元の局として経験した様々な苦悩の記録集。非常時のメディアのあり方を考えさせられる1冊です。